



主 題：生き物を大切にしよう（生命の尊重）

生活目標：あさ、ひる、よる、食べたらしみがこう 3 分間

「目に青葉 山ホトトギス 初鯉」

さわやかな初夏の風がとても気持ちよく感じられます。上の句のとおり、まぶしいくらいの新緑や、園の裏山に響くホトトギスの声、お刺身やたたきなど鯉もおいしい季節です。1年の中でも過ごしやすい時期ですね。でも、もうすぐ梅雨がやってきます。すでに九州南部は梅雨入りしてしまいました。九州北部もそろそろかもしれません。いずれにせよこれから湿度の高いじめじめとした日々がやってきます。体調管理には気を付けていきたいですね。

さて、14日「あずまや音楽堂」にご招待いただきました。歌や劇など、とても楽しい時間を過ごすことができました。今回は川崎保育園の子どもたちのために特別に開演していただきましたが、毎月定期的に行われているそうです。ぜひお子さまと一緒に足を運ばれてください。

また、21日は歓迎遠足の予定でした。あいにくの天気とはなりましたが、近所のお散歩やゲームなど、楽しく過ごしています。朝早くからお弁当の準備ありがとうございました。どちらも園のInstagramで少しだけ紹介しています（HPアルバムにも載せる予定です）。

先に述べましたように、これから蒸し暑い日が続く季節となります。また、今年の夏も猛暑となるとの長期予報も出されています。体調管理の面で、厳しい季節となることは間違いありません。園でも、手洗いうがいなどの感染予防を徹底させていきます。ご家庭でも、お子さまのようすをしっかりと見ていただき、日々の体調管理はもちろん、咳、鼻水等風邪様の症状がある場合は、必ず医療機関での受診をお願いいたします。



本園の保育のねらい



リズムとテンポとくり返し

本園が取り入れている「総合幼児教育研究会（総幼研）」のすべての活動において、上記の原則が徹底されています。それは、子どもの持つ生来の欲求に即したものであるからです。

心地よいテンポ（速さ）があること、明快なリズム（律動）があること、そしてそれをくり返すこと。そのことを子どもたちは歓迎します。単純に楽しいのです。

リズムとテンポとくり返しのある環境に身を置くだけで、幼児期の脳は良い刺激を受け続けることになります。子どもの「動きとことばとリズム」の活動に引き込む「リズムとテンポとくり返し」は、幼児期の子どもの教育にとってたいへん重要な要素です。



ひとりではできないことが、みんなとならできる。

みんなとできることは、やがてひとりでもできるようになる。

園では仲間とともに活動をおこないます。日課活動も一人で行うことはできません。できないというより、一人では得ることのできないとともに高めあう感覚…友が友を呼び、力をあわせ、時に補い合う集団としての効果があります。

たとえば、最初はだれもいえないような音読でも、先生の声についていく子がいます。すると「ぼくもわたしも」という共振するような連帯感がうまれ、広がり、いつの間にかみんながいえるようになるのです。

多くの活動において、同じことがいえます。幼児期においては、まず集団の力をはぐくみ、そこから将来、この能力を引き出していくことが大切と考えています。

6月の予定

- 4日（水）虫歯予防デー・歯科検診
- 13日（金）避難訓練・消火訓練
- 25日（水）誕生会

7月の予定

- 7日（月）七夕まつり
保育参観
- （※夏まつりは8月に行う予定です。）

